

株主の皆さまへ

第 **131** 期  
報 告 書

平成23年4月1日 → 平成24年3月31日

豊かな明日を支える  
創造的ハイブリッド・ケミストリー



**住友化学**

証券コード 4005

ごあいさつ

**環境変化へ迅速・的確に対応するとともに、  
財務基盤の強化、  
グローバル経営の深化、  
次世代技術の開発等を推進してまいります。**



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第131期の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期の世界経済は総じて弱含みに推移し、国内経済も円高の進行等の影響があり停滞が続きました。当社グループを取り巻く状況は、原料価格の高騰の影響、昨年秋季以降のアジアにおける急激な需要減少等により、大変厳しい事業環境となりました。

当社グループはこのような状況下で、引き続き、販売価格の是正、販売数量の拡大、コスト削減等に注力し、業績改善に努めてまいりました。しかしながら、当社グループの当期の売上高は前期に比べ346億円減少し1兆9,479億円となり、損益面では、営業利益は607億円、経常利益は507億円と、それぞれ前期を下回りました。また、当期純利益につきましては、多額の特別損失を計上したこと等により、前期に比べ減少し56億円となりました。

当社単独では、売上高は7,761億円、当期純損失は103億円となりました。

なお、当期の期末配当は3円として実施させていただきました。これにより、中間配当(1株につき6円)を含めました当期の年間の配当は、前期と同額の1株につき9円となっております。

今後の当社グループを取り巻く状況は、景気回復に様々な下振れリスクがあることに加え、原料価格や為替の動向なども懸念材料であり、事業環境は依然として予断を許さないものと思われまます。

こうしたなかで、当社グループは、環境変化への確に対応したマーケティング戦略や不採算事業整理を含む徹底したコスト削減の実施など、短期的な業績改善策を引き続き全力で実施するとともに、「中期経営計画」(平成22年度～平成24年度)で定めた基本的な取り組み事項のうち、「財務基盤の強化」、「グローバル経営の深化」および「次世代技術の開発」の3点に特に重点を置きながら対処していく考えであります。

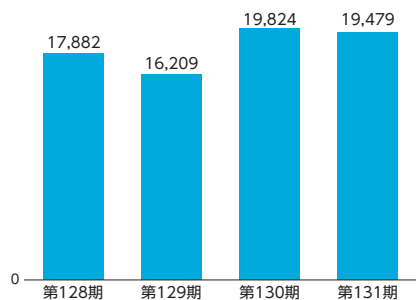
株主の皆様におかれましては、今後とも、よろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

社長 十倉 雅和

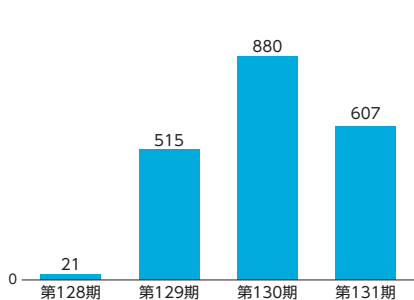
## 売上高

(単位：億円)



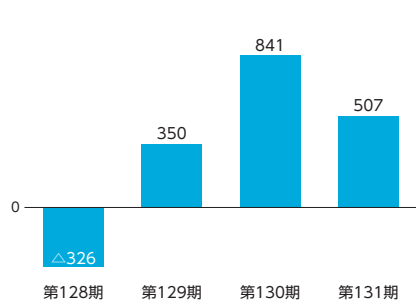
## 営業利益

(単位：億円)



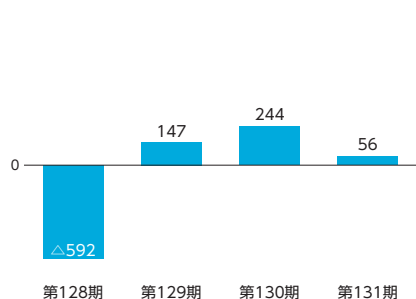
## 経常利益

(単位：億円)



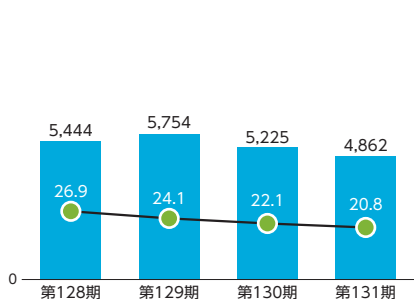
## 純利益

(単位：億円)



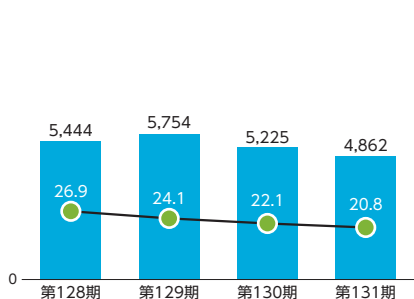
## 自己資本

(単位：億円)



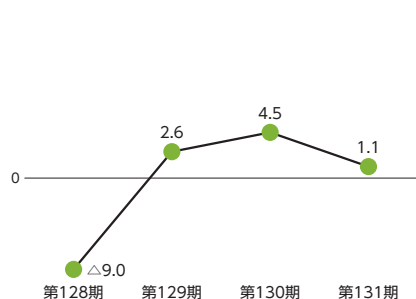
## 自己資本比率

(単位：%)



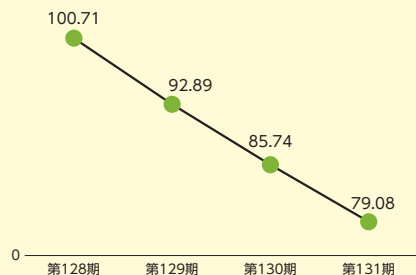
## 自己資本純利益率 (ROE)

(単位：%)



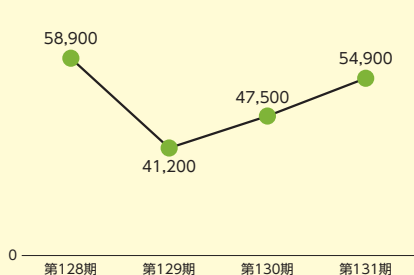
## 平均為替レート

(単位：円/ドル)



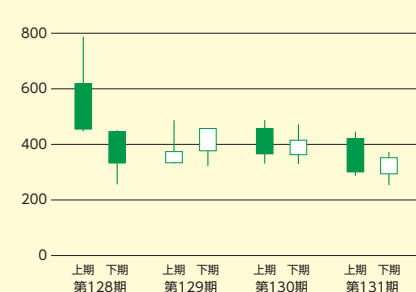
## ナフサ価格

(単位：円/KL)

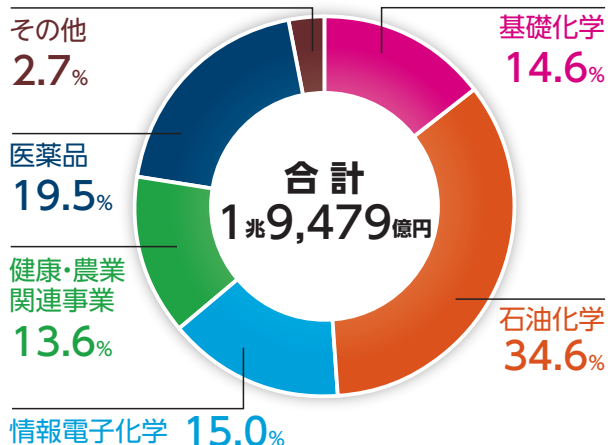


## 株価

(単位：円)

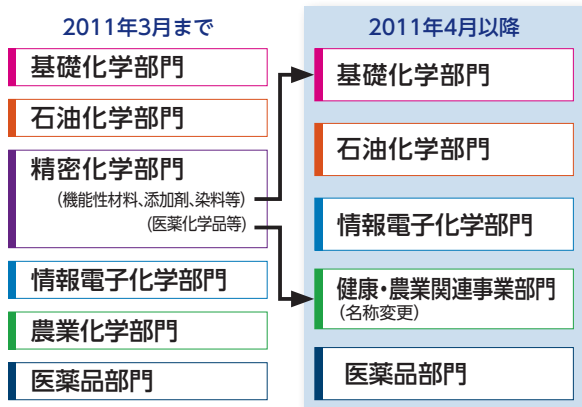


## 売上高構成比



## 事業部門の区分変更について

当社が持つ幅広い技術やノウハウの融合による新たなビジネスモデルの確立、経営資源の一層の有効活用を図るため、2011年4月1日付で「精密化学部門」を再編・廃止し、関係する事業を「基礎化学部門」、「健康・農業関連事業部門」（農業化学部門から改称）等へ移管いたしました。



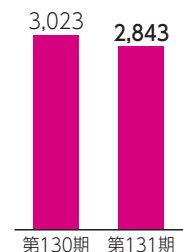
## 基礎化学

無機薬品、合繊原料、有機薬品、メタアクリル、アルミナ製品、アルミニウム、機能性材料、添加剤、染料等

メタアクリルや合成繊維原料は市況は上昇しましたが、震災の影響や需要の減少により出荷が減少いたしました。化成品も出荷が低調に推移し、販売が減少いたしました。

この結果、売上高は前期に比べ179億円減少し**2,843億円**となり、営業利益は前期に比べ113億円減少し**93億円**となりました。

売上高 (単位:億円)



## 石油化学

石油化学品、合成樹脂、合成ゴム、合成樹脂加工製品等

合成樹脂や石油化学品は、震災の影響や需要の減少に加えて、国内外において大型定期修繕があったことから出荷は減少しましたが、ナフサ等原料価格の上昇に伴う海外市況の上昇や国内販売価格の是正により、販売が増加いたしました。

この結果、売上高は前期に比べ225億円増加し**6,724億円**となりましたが、営業利益は前期に比べ50億円減少し**62億円**となりました。

売上高 (単位:億円)



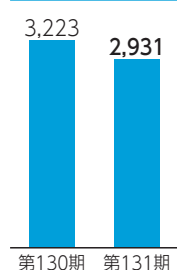
## 情報電子化学

光学製品、カラーフィルター、  
半導体プロセス材料、電子材料、  
化合物半導体材料、電池部材等

液晶ディスプレイ材料である**偏光フィルム**は、スマートフォンやタブレットPC用途での需要拡大や、台湾における生産能力増強により、出荷が増加しましたが、**カラーフィルター**の出荷は減少いたしました。また、偏光フィルム、カラーフィルターともに販売価格が下落したことに加えて、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もありました。

この結果、**売上高**は前期に比べ292億円減少し**2,931億円**となり、**営業利益**は前期に比べ152億円減少し**110億円**となりました。

売上高 (単位:億円)



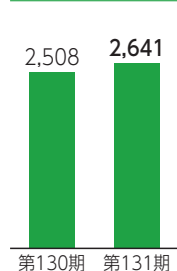
## 健康・農業関連事業

農業、肥料、農業資材、  
家庭用・防疫用殺虫剤、熱帯感染症対策資材、  
飼料添加物、医薬化学品等

**メチオニン**（飼料添加物）の販売は順調に拡大いたしました。**農薬**は海外での除草剤の出荷が引き続き堅調に推移いたしました。

円高による在外子会社の邦貨換算の影響はありましたが、**売上高**は前期に比べ133億円増加し**2,641億円**となり、**営業利益**は前期に比べ32億円増加し**265億円**となりました。

売上高 (単位:億円)



## 医薬品

医療用医薬品、放射性診断薬等

2011年2月より米国にて**ラツォダ**（非定型抗精神病薬）の販売を開始いたしました。**アバプロ**（高血圧症治療剤）や**ロナセン**（非定型抗精神病薬）、新製品である**トレリーフ**（パーキンソン病治療剤）や**メトグルコ**（血糖降下剤）については引き続き拡販に注力したため、販売が増加いたしました。

一方、**アムロジン**（高血圧症・狭心症治療剤）は後発品との競争により販売が減少し、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もありました。また、前期に開発・販売提携契約に伴う一時金収入があったことから、**売上高**は前期に比べ301億円減少し**3,805億円**となり、**営業利益**は前期に比べ77億円減少し**209億円**となりました。

売上高 (単位:億円)

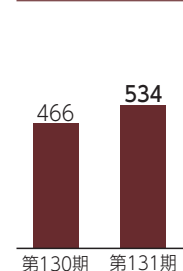


## その他

その他、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。

これらの**売上高**は前期に比べ68億円増加し**534億円**となり、**営業利益**は前期に比べ36億円増加し**77億円**となりました。

売上高 (単位:億円)



※当期から、左記区分変更のほか、「その他」に含まれていた事業の一部を「医薬品部門」に変更しています。なお、各部門の業績は、比較のため前期についても変更後の区分で表示しています。

### ポーランドに高性能DPF製造プラント新設を決定

当社は、2011年9月に設立したポーランド子会社（住化セラミックスポーランド）において、ディーゼルエンジン車に装着するチタン酸アルミニウム製のすす除去フィルター（以下、DPF）製造プラントを建設することを決定いたしました。

当社のDPFは、すすの捕集量、耐熱性、耐衝撃性などの点で、現在主流のシリコンカーバイド製DPFと比べ、より優れた特性を有しております。

2014年にディーゼルエンジン乗用車にDPFの標準装備が義務付けられることなどにより市場拡大が見込まれる欧州において、当社は2013年第3四半期に新プラントの稼働を開始させ、2014年初めから本格的に販売を開始する計画で、DPFを将来のコアビジネスの一つとして育成してまいります。



ポーランドのDPF製造・販売会社

### シンガポールにおいてブタジエンを増産

当社の関係会社の一つであるペトロケミカル・コーポレーション・オブ・シンガポールは、このほど、シンガポールのジュロン島において、年産10万トンのブタジエン増産設備を建設することを決定いたしました。商業運転の開始は2014年第2四半期を予定しております。

中国・インド等新興国におけるモータリゼーションの発展により、ブタジエンは自動車用タイヤ向けを中心に、今後、著しい需要増加が予想されております。今回決定した増産設備建設は、この需要増に対応した供給体制を構築するべく実施するものです。

増産設備より供給されるブタジエンの一部は、当社が現在シンガポールで建設中の省燃費タイヤ用合成ゴム (S-SBR) プラントにも供給される予定です。



シンガポールのプラントの全景

### 化合物半導体材料事業を拡大

当社は、化合物半導体材料の生産能力増強に着工いたしました。増強するのは、GaAsエピウエハー（ガリウムヒ素を材料とする半導体基板）であり、安定供給体制の構築と事業拡大を目的として、千葉工場の生産能力を倍増いたします。

化合物半導体は、一般的なシリコン等の単元素の半導体と比べて、高速で信号を処理することができ、耐熱性に優れているなどの特長があります。近年はスマートフォンやタブレット端末に使用されるアンテナスイッチやパワーアンプ用途向けの需要が急速に拡大し、今後の伸長が見込まれています。



千葉工場の化合物半導体材料の製造プラント



## インド子会社再編により事業基盤を強化

当社は、インドの子会社3社(住友化学インド、SCエンバイロアグロインディアおよびニューケミイングダストリー)を再編統合し、2011年9月より新たに住友化学インドとして営業を開始いたしました。

今回の再編により、当社はインドにおける事業基盤の強化を図るとともに、経営資源の効率的運用を加速させます。また、急速に拡大を続けている同国市場において、取り扱い製品全般においてさらなる営業力の強化を図り、数年内には住友化学インドの売上高を100億ルピー(約150億円)にまで拡大させる予定です。

当社は今後とも、グローバルな視点から開発・製造・販売の最適化を図り、収益基盤の拡充を目指してまいります。



## 大日本住友製薬 がん領域事業展開を本格化

当社グループの大日本住友製薬株式会社は、本年4月、ボストン・バイオメディカル・インク(以下、BBI社)を買収いたしました。BBI社は米国ボストン近郊のがん領域の研究開発を専門とするバイオベンチャー企業で、世界初のがん幹細胞に対する抗がん剤となる可能性のあるBBI608、BBI503という2剤を開発中です。

大日本住友製薬は、がん治療薬に挑戦することは研究開発型製薬企業の重要な使命と考えており、今回の買収により、がん領域における革新的な開発品に加え、BBI社の卓越した創薬・開発能力も獲得いたしました。これを核に米国での研究開発体制を構築し、がん領域を精神神経領域に次ぐ将来の重点事業領域とすることを目指しています。



### BBI社の概要

本社所在地：米国マサチューセッツ州  
設立年月：2006年11月  
代表者(CEO)：Chiang J. Li  
事業内容：がん幹細胞領域の研究開発に特化

## ホームページのご案内

ホームページではIR情報等さまざまな情報を発信しております。



住友化学

<http://www.sumitomo-chem.co.jp/>



### 株主・投資家情報

- ▶ 経営方針
- ▶ 財務・業績
- ▶ IR資料室
- ▶ 株式・格付情報
- ▶ IRカレンダー
- ▶ 個人投資家の皆さまへ

### IRニュース

証券取引所に開示した適時開示情報を掲載しております。



当社とサウジアラビアの国営石油会社サウジ・アラムコが共同で設立したペトロ・ラービグ社は、現在、サウジアラビアのラービグにおいて、石油精製・石油化学の統合コンプレックス（「ラービグ第1期」）を運営しております。

当社は、このほど、同コンプレックスを発展させる「ラービグ第2期計画」について、各種プロジェクト契約の締結や融資の確保など、計画を確定するために必要な作業を進めていくことといたしました。

当社は、これまで、エタンラッカーの増設や芳香族プラントの新設を通して、付加価値の高いさまざまな石油化学製品を生産する「ラービグ第2期計画」の企業化調査を、サウジ・アラムコと共同で実施してまいりましたが、このほどその事業性を確認し、EPC（エンジニアリング・調達・建設）契約をはじめとする各種プロジェクト契約の締結や、プロジェクト・ファイナンス（事業から発生する収益を評価し行なわれる融資）の確保など、計画を確定するために必要な作業を進めていくことといたしました。

「第2期計画」はペトロ・ラービグ社において必要な承認手続きを経た上で、同社が計画の実施主体となる予定で、総投資額は約70億ドルを想定。2016年前半から順次稼働させていくことを目標としています。



ペトロ・ラービグ社が現在運営する統合コンプレックス

#### ——「第2期計画」の概要——

主原料：エタン、ナフサ

製品：EPDM、TPO、MMA、PMMA、LDPE/  
EVA、パラキシレン／ベンゼン、キュメン、  
フェノール／アセトン

※アクリル酸、SAP、カプロラクタム、ナイロン6、ポリオールについては、第三者との協業も含めて、引き続き最適な実施の形態について検討。



特集 「豊かな明日」を支える住友化学の製品と技術

もっと豊かなエコライフを。

エレクトロニクス、再生可能エネルギーの未来を切り拓く、住友化学の製品・技術をご紹介します。



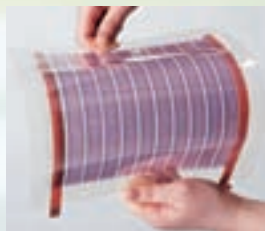
省エネや映像・画像の美しさなど、高性能化が求められるテレビやスマートフォン。**液晶ディスプレイ**用部材には、住友化学のテクノロジーの数々が注がれています。

また、当社は、高分子材料、薄膜形成、有機化合物の設計・合成などの関連技術を結集することで、消費電力が少なく、環境負荷の少ない次世代ディスプレイとして期待されている**高分子有機ELディスプレイ用材料**の開発を進めています。

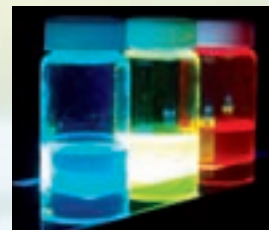
- ① 液晶ディスプレイ用部材 (導光板/拡散板/偏光フィルム/アルミナ/高純度アルミナ)
- ② 高分子有機ELディスプレイ用材料
- ③ エッジライト型LED照明 (「スミルック®」)
- ④ 高分子有機EL照明
- ⑤ 可視光応答型光触媒 (「イルミオ®」)
- ⑥ 有機薄膜太陽電池

照明分野では、省エネ効果の高いLEDに注目が集まる中、当社は独自の樹脂製品や液晶ディスプレイの開発で培った技術などを投入し、“目に優しい光”が特長の**エッジライト型LED照明** (「スミルック®」) を発売。さらに、より快適な次世代のあかり**高分子有機EL照明**の開発にも取り組んでいます。

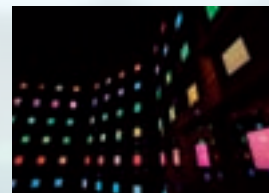
このほか、室内光でも脱臭や抗菌などの効果を発揮する**可視光応答型光触媒** (「イルミオ®」) や、次世代の**有機薄膜太陽電池**など、豊かなエコライフを実現する製品の開発を加速させています。



幅広い用途で活用可能な有機薄膜太陽電池



高分子有機ELの発光材料



本年4月、国際展示会に出展した高分子有機EL照明

要約連結貸借対照表

(単位:億円)

科目	当期 (平成24年3月31日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)	科目	当期 (平成24年3月31日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>11,021</b>	<b>10,983</b>	支払手形及び買掛金	2,278	2,280
現金及び預金	686	837	有利子負債	10,530	10,403
受取手形及び売掛金	4,109	4,138	その他	3,353	3,401
たな卸資産	3,824	3,581	<b>負債合計</b>	<b>16,161</b>	<b>16,084</b>
その他	2,402	2,427	<b>純資産の部</b>		
<b>固定資産</b>	<b>12,349</b>	<b>12,690</b>	株主資本	5,897	6,039
有形固定資産	5,949	5,525	その他の包括利益累計額	△1,034	△815
無形固定資産	1,422	1,848	少数株主持分	2,347	2,364
投資その他の資産	4,978	5,317	<b>純資産合計</b>	<b>7,209</b>	<b>7,589</b>
<b>資産合計</b>	<b>23,370</b>	<b>23,673</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>23,370</b>	<b>23,673</b>

要約連結損益計算書

(単位:億円)

科目	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	19,479	19,824
<b>営業利益</b>	<b>607</b>	<b>880</b>
持分法投資損益	20	108
為替差損益	△37	△66
その他	△83	△81
<b>経常利益</b>	<b>507</b>	<b>841</b>
投資有価証券売却益	98	—
持分法投資損失 <sup>(※)</sup>	△260	—
事業構造改善費用	△64	△41
減損損失	△36	△32
その他	△7	△11
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>239</b>	<b>757</b>
法人税等	83	348
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>156</b>	<b>409</b>
少数株主利益	101	164
<b>当期純利益</b>	<b>56</b>	<b>244</b>

(※) 関係会社のれん相当額一時償却

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科目	当期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
営業キャッシュ・フロー	1,245	1,762
投資キャッシュ・フロー	△1,240	△1,560
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	5	202
財務キャッシュ・フロー	21	180
その他	△30	△77
<b>現金及び現金同等物の増減</b>	<b>△4</b>	<b>306</b>

要約単独貸借対照表

(単位:億円)

科目	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)	科目	当 期 (平成24年3月31日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>4,951</b>	<b>5,067</b>	支払手形及び買掛金	1,279	1,421
現金及び預金	36	37	有利子負債	8,249	8,052
受取手形及び売掛金	2,126	2,202	その他	1,525	1,600
たな卸資産	1,873	1,851	<b>負債合計</b>	<b>11,053</b>	<b>11,074</b>
その他	916	977	<b>純資産の部</b>		
<b>固定資産</b>	<b>9,272</b>	<b>9,506</b>	株主資本	2,796	3,095
有形固定資産	2,429	2,271	評価・換算差額等	374	404
無形固定資産	127	145	<b>純資産合計</b>	<b>3,170</b>	<b>3,499</b>
投資その他の資産	6,716	7,090	<b>負債・純資産合計</b>	<b>14,223</b>	<b>14,573</b>
<b>資産合計</b>	<b>14,223</b>	<b>14,573</b>			

要約単独損益計算書

(単位:億円)

科目	当 期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	前 期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
<b>売上高</b>	<b>7,761</b>	<b>7,899</b>
売上原価	6,611	6,691
<b>売上総利益</b>	<b>1,150</b>	<b>1,208</b>
販売費及び一般管理費	1,186	1,246
<b>営業損失</b>	<b>△36</b>	<b>△38</b>
営業外収益	406	313
営業外費用	166	178
<b>経常利益</b>	<b>204</b>	<b>97</b>
特別利益	100	—
特別損失	525	86
<b>税引前当期純利益(△は損失)</b>	<b>△221</b>	<b>11</b>
法人税等	△119	134
<b>当期純損失</b>	<b>△103</b>	<b>△123</b>

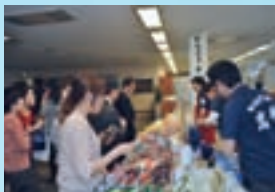
# 社会の持続可能な発展に向けて

## 東日本大震災の復興支援

昨年3月以降、当社ではグループを挙げて、義援金の寄付、毛布・日用品の送付、被災地応援「物産展」の開催等、様々な取り組みを実施しています。

当期については、当社グループ会社製品である殺虫剤の無償提供や、社員ボランティア（のべ約240名）を派遣し、機能性防虫ネットの設置、当社素材が使用された高保温性インナーウェアの仮設住宅への配布などの支援活動も実施しました。

今後の活動についても、現地ニーズを確認のうえ、検討していきたいと考えております。



左から、「被災地応援マルシェ」、社員ボランティアの様子



## 「エコ・ファーストの約束」の更新を宣言

本年3月、当社は「エコ・ファーストの約束」の取り組みの進捗状況および成果について、細野豪志環境大臣に報告するとともに、「エコ・ファーストの約束」の更新を宣言いたしました。

当社は2008年に総合化学会社で初めて「エコ・ファースト企業」に認定され、化学物質管理とコミュニケーション、地球温暖化防止対策、廃棄物再資源化の3分野における具体的な活動内容を約束しています。



環境大臣と「約束」する十倉社長

## タイ植林活動支援で特別功労賞を受賞

昨年10月、当社グループと労働組合は、公益財団法人オイスカより特別功労賞を受賞しました。

当社は2007年から労使協働でマッチングギフト制度を開始し、また翌年からは趣旨に賛同するグループ会社と共に支援金の一部を活用したマングローブ植林プロジェクトを開始するなど、生物多様性保全および地球温暖化防止の取り組みを推進しています。

今回の受賞は、このような取り組みが高く評価されたものです。



オイスカ創立50周年記念式典に合わせて行われた表彰式の様子

オイスカは、1961年に設立され、世界30の国・地域で「農村開発」「人材育成」「環境保全」「普及啓発」を行っている公益財団法人です。

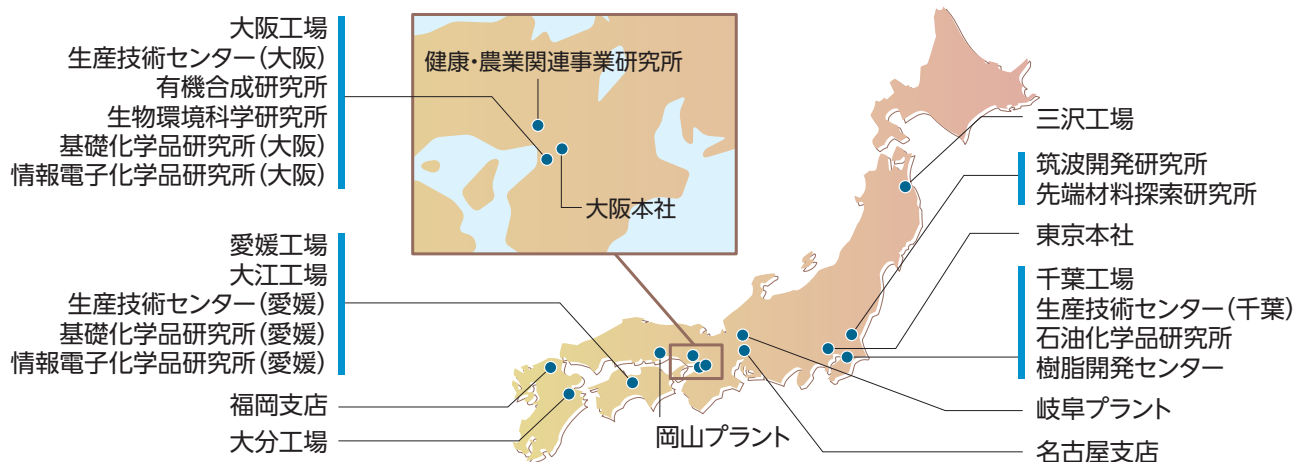
■ 海外ネットワーク (平成24年6月22日現在)

(主要な海外子会社・駐在員事務所等の所在地)



■ 国内ネットワーク (平成24年6月22日現在)

(本社、支店、主要な工場・研究所等の所在地)





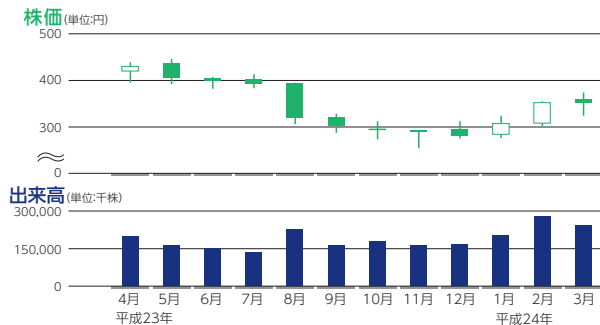
## ■ 会社概要 (平成24年3月31日現在)

設立	大正14年6月1日
資本金	89,699百万円
従業員数	29,839名(単体 6,189名)
関係会社数	連結子会社 145社 持分法適用会社 36社

## ■ 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数	5,000,000千株
発行済株式総数	1,655,446千株
株主数	118,107名

## ■ 株価・出来高の推移



## ■ 役員 (平成24年6月22日現在)

<b>取締役および監査役</b>	<b>執行役員</b>
代表取締役会長 米倉 弘昌	常務執行役員 岡本 敬彦
代表取締役副会長 石飛 修	常務執行役員 野崎 邦夫
代表取締役社長 十倉 雅和	常務執行役員 下田 尚志
代表取締役副社長執行役員 高尾 剛正	常務執行役員 米田 重幸
代表取締役専務執行役員 福林憲二郎	常務執行役員 森本 雅貴
代表取締役専務執行役員 羽多野憲一	常務執行役員 上田 博
代表取締役専務執行役員 出口 敏久	常務執行役員 西本 麗
取締役 大野 友久	常務執行役員 小川 育三
社外取締役 伊藤 邦雄	執行役員 小中 力
監査役(常勤) 赤坂 貴夫	執行役員 清水 祥之
監査役(常勤) 長松 謙哉	執行役員 新沼 宏
社外監査役 荒川 洋二	執行役員 岩田 圭一
社外監査役 横山 進一	執行役員 松浦 秀昭
社外監査役 池田 弘一	執行役員 佐藤 良
	執行役員 児島 俊郎
	執行役員 丹 一志
	執行役員 高沢 聡
	執行役員 丸山 修
	執行役員 竹下 憲昭
	執行役員 マーク フィルメール
	執行役員 松尾 忠毅
	執行役員 金 尚允
	執行役員 マイケル ドナルドソン
	執行役員 重森 隆志

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月開催	
基準日	(1) 定時株主総会・期末配当金	毎年3月31日
	(2) 中間配当金	毎年9月30日
	その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。	
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
同上事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(郵便物送付先)	東京都府中市日鋼町1番10 (〒183-8701) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
(電話照会先)	 0120-176-417	
(U R L)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>	

**公 告 方 法** 電子公告により行います。  
(下記の当社ホームページに掲載いたします。)  
<http://www.sumitomo-chem.co.jp/koukoku/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### ■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会につきましては、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

### ■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開けいたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

### ■ 単元未満株式の買取増制度について

単元未満株式(1,000株未満の株式)を、当社と売買いただく制度(単元未満株式買取および買増請求の制度)がございます。売買をご希望される場合は、お近くの三井住友信託銀行株式会社の本・支店にご連絡ください。

### ■ 配当金のお支払期限について

配当金は、支払開始の日から満3年を経過しますと、定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。

 住友化学株式会社

〒104-8260 東京都中央区新川二丁目27番1号  
東京住友ツインビル(東館)  
TEL:03-5543-5101 FAX:03-5543-5902  
<http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用し  
て印刷しています。

